

# 北海道医療大学歯学部同窓会

北海道支部連合会・札幌支部 20周年記念講演会



夕張における地域医療再生  
～高齢化社会における医療の在り方～  
医療法人財団夕張希望の杜理事長  
村上 智彦 医師



地域を支え地域に支えられる私  
～「プロフェッショナル仕事の流儀」で語りきれなかった真実～  
福井県名田庄村診療所 所長 中村 伸一 医師



歯科との連携でえられる患者のメリット

医療法人財団夕張希望の杜歯科部長 八田 政浩 歯科医師

ドキュメント～

# 地域医療を語る

福井県名田庄・夕張からの提言

“ありがとう”に応えるために

2009 **11/14** (土) 14:00～17:00

ホテルロイトン札幌 2F リージェントホール 札幌市中央区北1条西11丁目1

お申し込み先・方法(ハガキ・FAX・E-mail) FAX: 011-615-0586 E-mail: dorengo20th@gmail.com

北海道医療大学歯学部同窓会 北海道支部連合会事務局 〒064-0959 札幌市中央区宮ヶ丘1丁目1-21

お申し込みの場合は住所、氏名、電話番号をお書きの上、お送り下さいますようお願いいたします。 お問い合わせ先: 011-615-0573

後援・協賛 札幌市 北海道新聞社 北海道医師協同組合 グラクソ・スミスクライン株式会社 ライオン株式会社 北海道医療大学

定員 **300**名  
入場無料

定員に達し次第締め切  
らせていただきます  
締め切り 11月6日(金)

# ドキュメント～地域医療を語る

福井県名田庄・夕張からの提言—“ありがとう”に応えるために

## 講師紹介

### 村上智彦 先生

北海道薬科大学卒、金沢医科大学卒、自治医科大学地域医療学のレジデント、その後瀬棚町医療センター等の勤務を経て、2006.12.25夕張市立総合病院に内科の応援医師として着任。2007.3.6に夕張市が財政破綻した後、(医)夕張希望の杜(旧市立夕張総合病院)の理事長に就任。2009.7.10若月賞受賞(地域医療の保健医療分野で功績を称える顕彰)。

瀬棚町での6年間で「予防・包括ケア」の実践により3割近い老人医療費の削減を果たした。夕張市では財政破綻の中、住民の安易な受診、マル投げの行政といった情勢下で、再建策として公設民営の診療所方式と老人保健施設への移行を行い、地域医療従事者同士の連携・在宅医療の充実、住民の健康意識向上をはかり、地方交付税交付金に頼らない新しい地域医療の方向性を示しつつ奮闘中。

\* 毎日放送番組「情熱大陸」出演

### 中村伸一 先生

自治医科大学卒、福井県立病院勤務後、国保名田庄診療所所長、1999年の保健福祉課課長(兼務)、2000年全国国保診療施設協議会理事、自治医科大学臨床講師、2009同臨床教授。

地域住民が病院・施設に入院し続けて死にいたるのではなく、生まれ育った自分の家で「療養し、古い、最期を迎える」。その重要性を地域住民とのふれあいで痛感し「癌の早期発見」と「在宅医療」を充実させるため、ボランティアを含めた保健、医療、福祉の連携により在宅ケアを進め「支える医療」の確立に尽力。結果、福井県内で最も低い老人医療費、介護保険料を実現。また、保健・医療・福祉総合施設で、地域住民のコミュニティー施設も兼ねた「あっとほ～むいきいき館」(ジェネラルマネージャー兼務)の設立も実現させ、健常者、有病者、障害者の区別なく地域が融合しつつある。平成3～17年度(15年間)の旧名田庄村の在宅死の割合は42%となっている。(全国の在宅死の割合は11～12%である)

\* NHK番組「プロフェッショナル 仕事の流儀」出演。

### 八田政浩 先生

東日本学園(現北海道医療)大学歯学部卒(3期)、北大第II補綴を経て夕張市立総合病院歯科医長として勤務。口腔ケアの重要性を唱える村上氏と意気投合し、夕張医療センター歯科診療部部長を引き受けることとなった。

市立総合病院の歯科では外来診療に加え往診も行っていましたが、新体制では更に患者の全身状態に目を向けるようになった。老健施設では医科から歯科、歯科から医科への連携による歯科の介入(予防、治療、口腔ケア、リハビリ)により消化器疾患の改善、誤嚥性肺炎の減少、褥瘡、摂食・嚥下機能、認知症の改善の傾向が見られるようになった。生活習慣病としての側面をもつ歯周病を介しての医科歯科の連携による地域包括ケアの発展を提案し、予防医療、福祉、在宅医療の充実と地域のQOLの向上、医療費の削減を目指している。